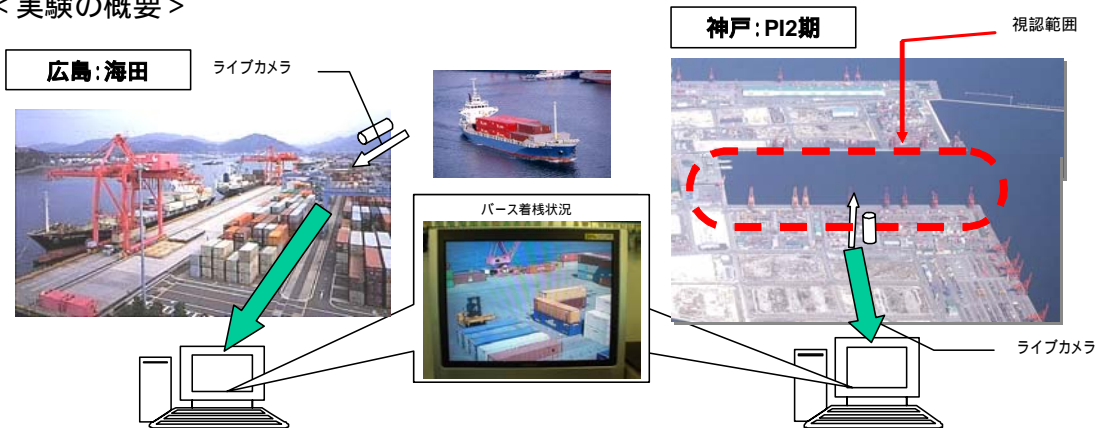


1.(神戸港、広島港)ライブカメラ設置によるバース状況のリアルタイム把握

<実験の目的>  
**ライブカメラによるコンテナバースの荷役状況の把握による運航効率・荷役作業効率の向上**

<実験の概要>



**ライブカメラ視認範囲**  
 神戸港 PC - 14、15、16コンテナバース、PI - L内航フィーダーバース  
 広島港 海田コンテナバース  
**視認内容**  
 船舶着棧状況及び荷役作業の有無の状況

2.(神戸港)貨物情報(偏荷重)の共有による作業の安全性向上

<実験の目的>  
**スバ中・地方港間(船舶入出港)における偏荷重情報の共有化による作業安全性の向上**

<実験の概要>

①実験内容

神戸港から広島港に向かう輸入コンテナについて、神戸港内航フィーダーバースにおいて、港湾運送事業者(商船港運)がトラックスケールにて左右の荷重を計測し、以下へ情報伝達を行い、その効果を確認する。

- ・神戸港の内航フィーダーバースの港湾荷役事業者(住井運輸)
- ・内航海運事業者(神戸港⇄広島港)  
(井本商運、マロックス)
- ・広島港の港湾荷役事業者及び港湾運送事業者  
(マロックス)

対象貨物:神戸港から広島港へ内航フィーダー輸送する  
 輸入コンテナ

②実験期間

平成19年2月26日～平成19年3月2日(1週間)

③実験体制

右図参照

